

平成27年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 町内の課題克服と地域リーダー養成のための学習会

団体名 津倉わいわいESD 担当者名 小槇章生

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)		
別紙(平成27年度 津倉わいわいESDの活動実績表)のとおり		
・4月19日	会員会議(27年総会)	10:00~11:30 津倉町集会所
・5月31日	講座「薬害から身を守る知識と新薬情報について」	10:00~11:30 津倉町集会所
・6月10日	講座「訪問介護について学ぶ」	10:00~11:30 津倉町集会所
・7月25日	懐かしい地域行事を復活させて、子供を含めた幅広い交流を図る…… 「津倉稻荷堂の夏祭り」の復活	13:00~16:00 津倉稻荷堂(妙應寺)
・8月23日	会員会議	10:00~11:30 津倉町集会所
・9月10日	講座「自転車の改正道路交通法に関する学習」	10:00~11:30 津倉町集会所
・9月19日	「岡山和気ヤクルト工場の見学」	10:00~13:30 和気ヤクルト工場
・10月25日	「津倉町内会創立60周年記念イベント」の企画運営	9:00~18:00 上伊福西公園
・10月26日	岡山県庁の見学	10:00~13:00 岡山県庁
・11月22日	講座「マイナンバー制度導入について学習」	10:00~11:30 津倉町集会所
・12月25日	「親子で作るふれあいクリスマスケーキ&クッキー講習」	10:00~17:30 京山公民館
・12月25日	「独居老人を囲むクリスマスパーティ」	18:00~20:00 津倉町集会所
・1月17日	会員会議(ESDふれあいカフェの検討会議)	10:00~11:30 津倉町集会所
・2月28日	講座「魅力的な笑顔を身につけて、明るい人生を呼び込む」	10:00~11:30 津倉町集会所
2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が集う町内会会議に出席して、ESD活動のPR、理解促進に努めた。 ・高齢化の進む町内の実状を踏まえて、10年前後に到来する課題への準備学習を図った。(医療、福祉、ふれあい行事から共助の精神醸成) ・世代を超えた「ふれあい」を求めて、共に参加できるイベントを開催し、若者の中から次世代リーダーの発掘に努めるとともに、持続可能な社会の実現に努めた。 ・町内で多数の人が参加可能で持続可能な行事を形成し、「支え合う地域づくり」の精神醸成に貢献できた。(稻荷堂夏祭り、ふれあいイベント、独居老人を囲むクリスマスパーティ) ・町内の事業所(会社)や寺院と提携して、効果的な活動イベントを行なうことができた。 		

<p>3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）</p>
<p>・講座会には、高齢者の参加が多く見られたが、身近な課題に共感しての参加と思われる。 ・講座の議題次第では、若い人の参加も見られるが全体的に60歳以上の参加者が多い。今後は、若い人に関心が高い「議題」を取り入れた活動も検討したい。 ・津倉町内で半世紀ぶりに復活させた「稻荷堂夏祭り」には、世代を超えた多くの人が参加し昔懐かしい行事に多大の賞賛を受けた。年配者の心に残る行事は、継続するべきだと感じた。 ・「お茶会」は、小学生や幼児が休日を利用して点前を修練し、親や祖父母に感謝を込めて振舞う。この「ふれあひ茶会」は、微笑ましい光景のイベントになってきている。津倉の魅力を表現する文化イベントとして継続したい。</p>
<p>4. 今後の課題と展望</p>
<p>・次世代の地域リーダー候補者はいるが、ESD活動に参加させる機会が少ない。現役世代との交流が図れる行事を企画して、計画的なリーダー養成を町内会と連携して図りたい。 ・超高齢化の進む地域社会を見通して、「支え合う地域づくり」の形成が町内に必要と考えている。現段階で、他人事と思っている65歳（高齢者）も10年後は超高齢者で環境は大きく変わっている。これに向けた行動を起こしたいと考えている。さらには、周辺地域のESD団体と連携した活動が必要と考えている。 ・取れあえず「ESDふれあひカフェ」を起動させて、高齢者同士のふれあいを強化させる。その交流の中から、高齢者の生活に必要な「支援活動」を見出していきたい。</p>

